

### 3 疾病予防と重症化予防の推進



#### (1) 健康の維持増進と疾病の早期発見

##### 目指す姿

一人ひとりが健康的な生活習慣を心がけ、健康診査やがん検診を定期的に受診し、早期発見・早期治療につながっています。

##### 現状と課題

- 本市市民の主要死因を見ると、がん（悪性新生物）、心疾患、脳血管疾患の三大生活習慣病が全体の約47%を占めています。初期の生活習慣病は特に自覚症状がないことが多いため、いつの間にか病気が進行してしまう危険性があります。そのため、定期的に健（検）診を受けて自分自身の健康状態を常に正しく把握することが生活習慣病の早期発見・早期治療には重要です。
- 本市においては、特定健康診査や特定保健指導、がん検診等を積極的に進めていますが、健（検）診の受診率及び特定保健指導の実施率は、国の目標値に比べ低くなっています。生活習慣病の早期発見・早期治療を図るため、特定健康診査・がん検診等の受診しやすい環境づくりや効果的な実施方法の検討、受診率向上にむけた体制整備、健診結果等により生活習慣病の発症及び重症化リスクを把握し、予防・改善につなげるための取り組みの推進が求められます。
- 若年早期のピロリ菌の除菌が胃がんに有効であることから、市では、市内中学校3年生の希望者にピロリ菌尿検査を行い、検査結果が陽性の人（生徒）には、除菌費用の一部助成を行っています。陽性通知後、未受診者もいるため、今後も引き続き、胃がん予防への理解促進を図っていく必要があります。
- 平成28年の「がん対策基本法」の一部改正により基本理念が追加され、「がん患者が、尊厳を保持しつつ安心して暮らすことのできる社会の構築」が求められています。がんに罹患しても自分らしく生活を続けられる支援が必要です。

①生活習慣病予防の周知啓発

- ▶健康教室等や検診の機会を活用し、生活習慣病予防について周知啓発を行います。[施策：3111](#)
- ▶喫煙と受動喫煙、飲酒、がん、薬物による健康被害について、健康講座や母子保健教室等の様々な機会を活用し、正しい知識の普及を図ります。[施策：3112](#)
- ▶生活習慣病に係る医療費が上昇する手前の若年層への年代へアプローチする手段として企業への周知啓発を行います。[施策：3113](#)
- ▶家庭における健康管理に加え、小中学校における定期健康診断を実施し、適切な生活指導と子どもたちの健康増進に努めます。[施策：3114](#)

②生活習慣病予備軍の早期発見、健(検)診の受診勧奨

- ▶生活習慣病の発症予防と早期発見のため、市民が受診しやすい特定健康診査と特定保健指導の体制を整え、受診率や実施率の向上を目指します。[施策：3121](#)
- ▶健(検)診受診向上に向け、インターネット予約の導入やナッジ理論などを活用した受診勧奨、情報発信を行い、がん検診や特定健康診査、特定保健指導の受診率および実施率向上に取り組みます。[施策：3122](#)
- ▶各種健康教室や運動教室等の機会を通じ、健(検)診の周知啓発や、受診方法、健(検)診の重要性について掲載した健康づくりのてびきを全戸配布し啓発を行います。[施策：3123](#)
- ▶人間ドック・脳ドック事業を実施し、健康状態や普段気付きにくい疾患や臓器の異常などをチェックするきっかけを提供し、疾病の早期発見と早期治療及び疾病予防のための健康管理の促進に努めます。[施策：3124](#)
- ▶糖尿病重症化予防を図るため、医療機関との連携を図りながら国民健康保険事業での糖尿病性腎症重症化予防事業に取り組むとともに、その指導対象を後期高齢者の75歳以降まで拡大し、ハイリスク者への支援を強化します。[施策：3125](#)
- ▶引き続き中学校3年生へのピロリ菌尿検査、除菌費用の助成を行うとともに、胃がんへの理解促進を図ります。[施策：3126](#)
- ▶国や県の制度を活用したがん患者への幅広い支援に取り組むとともに、他市等における先進事例の研究を行います。[施策：3127](#)
- ▶女性特有のがんを予防するため、女性のための検診日を設けるなど環境整備に努めます。[施策：3128](#)